

全国オンライン弓道交流大会 実施要項

1. 目的 全競技をオンライン上で実施することで、新型コロナウイルス感染症に対応した新たな弓道競技会の開催方法に関する知見を、全日本弓道連盟及び加盟団体間で獲得・共有する。また、参加団体間における弓道競技力の向上及び相互の親睦を図る。
2. 主催 公益財団法人全日本弓道連盟
3. 主管 全国オンライン弓道交流大会実行委員会
4. 期日 令和3年3月21日（日）
※大会開催に関する会議は、全て大会前（締切後）にWeb会議及びメールによって行う。
5. 会場 大会本部 : 全日本弓道連盟事務所（JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE内）
競技実施場所 : 主催者と各参加団体間の取り決めによる全国各地の弓道場
6. 競技種目 近的競技
7. 競技種類 団体競技
8. 競技内容 的中制（坐射・直径36cm霰的）
9. 競技日程 3月21日（日）
 - 11:00～ 本部及び各会場間での通信確認
 - 12:00～ 団体予選（3人立・各自4射×2回・計24射）
（これ以降の時間は、参加チーム数を32チームと想定した場合です。実際の参加チーム数及び試合の進行状況によって、変更の可能性があります。）
 - 14:00 決勝トーナメント1回戦（全4試合、2試合同時に行う）
各自4射・計12射・合計的中数の多い方を勝ちとする。
同中の場合は1本競射を勝敗が決定するまで繰り返す。
 - 14:30 決勝トーナメント準決勝（全2試合、1試合ごとに行う）
 - 15:00 決勝トーナメント決勝（1試合）
 - 15:30 終了・解散
10. 競技方法
 - (1) チーム編成
 - ①競技は、3人立で行う。
 - ②男女及び段位・称号による種別は設けない。
 - (2) 予選
 - ①事前の抽選によって決めた立ち順で、8チームずつ行射する。
（参加団体数によって、同時に行射するチーム数は増減する可能性がある）
 - ②坐射で各自4射2回にて的中数の上位8チームを決勝トーナメント進出とする。
 - ③制限時間は1立7分30秒（時間超過後に発射した矢は無効とする。）
自団体内に起因する事故（弦切れ処理など）の場合は、制限時間内で行う。
 - ④決勝トーナメント進出の為の同中競射は、各自1射にて、総的中数の多いチームを上位とする。
なお、1回の同中競射で順位が決まらない場合は、順位が決定するまで繰り返す。
 - ⑤各会場の記録責任者は、行射終了後に本部へ合計的中数を報告する。本部は、各会場の記録をまとめ、各会場に報告する。
 - (3) 決勝トーナメント
 - ①トーナメントの組み合わせは、予選順位によりその位置を決定する。
 - ②進行は本部からの合図による。
 - ③坐射で各自4射1回のトーナメント法で行う。
 - ④制限時間は7分30秒以内とする。
 - ⑤同中の場合は、各自1射にて総的中数の多いチームの勝ちとする。
なお、1回の同中競射で勝敗が決らない場合は、勝敗が決定するまで繰り返す。
 - (4) 選手の変更及び交代は、予選1回目から可能とする。
11. 表彰 優勝から3位（3位2チーム）に本連盟より賞状を授与する。（賞状は大会後に郵送する）
12. 参加資格
 - (1) 選手及び監督は所属する都道府県弓道連盟会長の認証を受けた者であること。
 - (2) 各都道府県弓道連盟から団体競技1チームとする。
 - (3) 所属する地連が位置する都道府県において、新型コロナウイルス感染症によるスポーツ大会を含めたイベントの開催自粛要請が出されていないこと。
 - (4) 新型コロナウイルス感染症に対応したガイドラインに沿って参加できること。
 - (5) 「競技規則」に則った近的競技を3人立で行える会場を確保できていること。
 - (6) オンライン大会を実施できる環境が（5）の会場に備わっていること。

13. 適用規則 公益財団法人全日本弓道連盟「弓道競技規則」ならびに大会要項による。
14. 参加料 無料（但し、参加に伴う通信機器の整備、通信料、会場使用料は各地連で負担すること。Zoomのホストは大会本部で用意する。）
15. 参加申込 以下のリンクから申込みこと。
<https://forms.gle/7zMNz6LHMZpVxaQN8>
16. 締切日 令和3年3月1日（月）
なお、参加申し込みの際に、出場選手名を記載する必要はない。選手名及び立順表は、大会前日正午までにオンライン上で提出する。選手名及び立順表の提出については別途案内する。
17. 注意事項 (1) 競技の服装は、弓道衣（筒袖・袴・白足袋）とする。
(2) 坐射が困難な選手は立射での参加も認める。申請等は不要とする。
(3) 参加者各位においてスポーツ安全保険等に加入することが望ましい。
(4) その他、各地連において定められた事項があれば、その内容に従うこと。
18. 審判 各会場において、地連会長の定めた競技に直接参加しない者（公認審判員資格を有している者が望ましい）が審判の役割を担うこと。審判は、競技が安全且つ適正に行われるよう監督する義務と責任を負い、各会場における競技結果が正しいことを確認すること。
19. YouTube配信及び競技結果の発表について
競技の様子は、当日YouTube上の特設アカウントにおいて配信する予定である。また、競技結果の速報についても、Twitter等を用いて配信する予定である。これらの詳細については、別途各地連オンライン大会担当者を通じて連絡する。
20. その他 (1) 新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに則り実施すること。安全が確保できない場合は直ちにその会場は閉鎖とし、試合は棄権扱いとする。
(2) 大会終了後に、参加各地連に対してオンライン開催に関するアンケート調査を行う。本大会が全日本弓道連盟のオンライン弓道競技会開催に向けたモデル大会であることを踏まえ、回答するよう協力をお願いする